

株式会社鷹本農産（熊本県）

GLOBALG.A.P. ミニトマト 2015年取得

所在地：熊本県玉名市

面積：施設ミニトマト3.2ha

応募区分：個別経営の部

構成員：常勤28名（うちパート22名）

栽培品目：ミニトマト、米、麦



地域の農業者に向けたGAP講習会

▼GAPに取り組んだきっかけ

- 熊本県が主催する農業経営塾でGAPを知り、自社の経営が改善され強みになると考え、平成27年、ミニトマトでGLOBALG.A.P.認証を取得

▼GAPの継続に向けた取組

- 子育て中の従業員が働きやすくなるよう、出退勤時間の自由化等、柔軟な勤務体制を構築。
- 規模拡大による労働量の増加に対応していく中で、日頃からパート従業員とコミュニケーションを図り、意見や要望を聞き取り。パートマネージャー等のポストを用意し、作業計画の作成等、経営に積極的に参加してもらうとともに、待遇を改善。
- 従業員と話し合い、通年雇用できる作型を独自に構築し、規模拡大に伴いパート従業員を1名から22名に増やす間の離職者はわずか3名と高い定着率を実現するとともに、同程度の規模の経営に比較し1割程度少ない従業員での農作業を実現。
- 全ての栽培履歴の記帳をアプリで行うことで記帳負担を軽減。作業の進捗や年間スケジュールはSNSを通じて全従業員で情報共有。
- ハウス（面積計3.2ha、103棟）のほ場が県下の9箇所に分散しており、全ての箇所で手洗い設備付きトイレを常設。

▼GAP認証農産物の生産拡大に向けた取組と効果

- GAP認証取得後の6年間で、備品や消耗品の在庫管理、機械のメンテナンス等を計画的に行うとともに、IPMを推進し、殺虫剤使用量を県慣行比8割減、殺菌剤使用量を県慣行比2割減。
- GAP認証取得時は収穫量が33t/年であったが、GAP認証農産物であることを売りに販路を拡大し、認証取得後6年間で199t/年まで収穫量を拡大。

▼地域への波及

- 自社生産のミニトマトのほか、地域でミニトマトを生産する農業者8戸の出荷も行い、8戸に対してGAP認証の取得に向けた指導を実施。



アプリでの記帳、情報の共有



県下9箇所のほ場に清潔なトイレを設置